



パソコンを捨てるのは有償ですよ!

ご存じでしたか?パソコンは燃えないゴミにも粗大ゴミにも捨てられません。お金を払い「PCリサイクル」として資源再生しなければなりません。ただしいくつかの条件がありますので紹介致します。



STEP 1 対象になる機器を確認する

対象になるのは【パソコン本体】【ノートパソコン】【ディスプレイ】です。プリンタ、デジカメ、ルーター、マウスなどは燃えないゴミや粗大ゴミでOKです!対象となる機器を廃棄する場合はメーカーに電話して引き取りにきてもらう必要があります。

STEP 2 PCリサイクルマークを確認する



リサイクル

次に捨てる機器に左のマークがあるかないかを確認してください。左のマークがあれば、見事無料で廃棄できます!!! 2003年以降に発売された機器であれば多く場合、商品購入時にPCリサイクル料の支払を済ませている事を証明するこのマークがついています。尚、マークが付いていない場合の料金は下図の通りになります。

※法人向けモデルの製品にはついていない事があります。

STEP 3 メーカーに連絡して引き取りの手続きを行う

マークがあってもなくても捨てる時は、廃棄したい機器のメーカーか3R推進センターとよばれる機関に連絡します。機器の説明書や、メーカーのホームページなどを見て連絡をとって引き取りの手続きを行ってください。手続きが完了すると物流会社が引き取りにきてくれます。

STEP 4 え?お金とか払いたくないんだけど・・・

廃棄時にマークがなければ法律で定められている以上、必ず支払わなければなりません。それでも払いたくないのであれば、

- ★その機器にまだ価値があるのなら売る
- ★民間のリサイクル業者に回収してもらう

の2つの選択肢があります。ただしリサイクル業者に引き取らせた場合、その機器が何所へいくのかも不明ですし、ハードディスク内のデータ流出の危険性もあります。自己責任で行ってくださいね。

	マーク有	マーク無
デスクトップパソコン (一体型含む)	0円	3150円
ノートパソコン	0円	3150円
液晶ディスプレイ	0円	3150円
CRTディスプレイ (ブラウン管)	0円	4200円 (一部250円)

裏面もあります!!

シスポート
[Sys:port]®

連載企画 “一丁啮” が行く! 第3回:バージョンアップ

ソフトの世界ではバージョンアップというのが必須となっています。バージョンアップとはいわゆる“改訂版”を出すことで、技術の進歩やソフトの機能アップなどに伴って“改訂版”を世に送り出します。不具合を修正した“修正版”を出すことを意味する場合がありますが、一般的には機能アップした『新製品』として市場から歓迎される場合が多いようです。

しかしながら、市場から歓迎されないバージョンアップもあります。Windows Vista が代表例でしょうね。新製品ということもあって、プリンタードライバー等が対応してなくて今までのものが使えなくなる、他のパソコンと操作性が異なりわかりづらい等のことから、いまだに敬遠されています。そのWindows Vista と混同されがちなものに Vista と同時発売された MS Office2007 があります。ExcelやWord、PowerPointなどのソフトですが、これがまた、今までと全く画面が違う!

今まで、ExcelやWordを使ってきた人なら、一目見ただけで『なんじゃ?こりゃ!』と思うほど変わっています。今までサクサクと出来ていた仕事が、どのように操作したらいいのかをしばらく考えないと操作できません。慣れるまで、間違いなく仕事の効率がかなり落ちます。

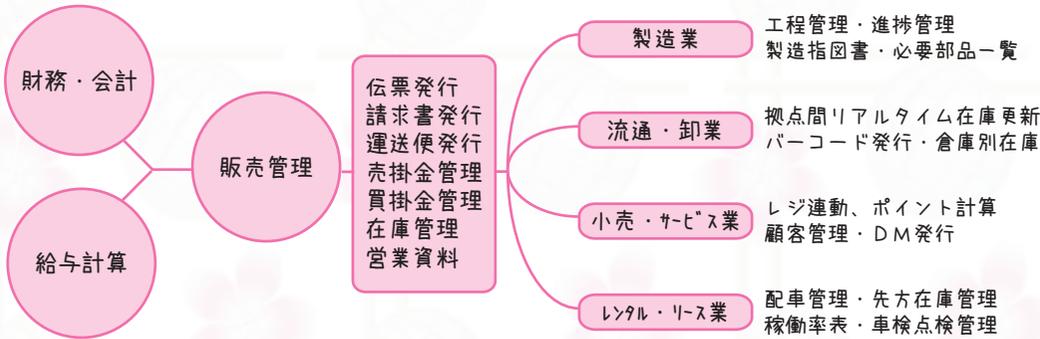
しかし、パソコンの世界は完全にマイクロソフトに首根っこを捕まれている状態ですから逆らうことも出来ません。これからはこの使いにくいWordやExcelに慣れなければならないのです。そう思ったかどうかはわかりませんが、今使っているパソコンに Office2007をインストールしてしまい、えらい目にあった哀れな男がいたんです。その哀れな男の話は次回に...

ホームページは <http://www.sysport.co.jp> または【シスポート】で検索!!!

特集 販売管理って一体なに?

世の中には業務ソフト3大柱と呼ばれる物があります。その3大柱が【財務・会計、給与計算、販売管理】だと言われています。財務・会計や給与計算は読んで字の如くなので言うまでもありませんが、販売管理と聞くと「小売業のレジシステムの事かな?」なんて思われる方も多いようです。実は販売管理とは非常に定義が曖昧で幅広く「財務・会計と給与計算以外の業務処理は全て販売管理だ」というようなまとめ方になっています。(製造業には別途生産管理などがあります)最もミニマムなのが伝票と請求書、運送便やラベル、バーコードを発行する事になり、もうひとつ進むと仕入管理と在庫管理がついたり、売掛金、買掛金の管理がつかます。更に進むと、小売業ならレジとの連動にレシート発行、顧客管理、ポイント管理をつける等。製造業なら生産管理や進捗管理・工程管理、部品単位での在庫管理をして必要部品数を算出。運送業やレンタカー業界なら配車管理をつけたり、各種リース業であれば先方在庫管理など、業種業態に合わせて様々な機能を付加していきます。会計の仕訳のように法律に定められた方法で処理するのではなく、業種業態に合わせて、使いやすいように様々な方法で処理をする事が出来るので、販売管理の定義は広がるのです。もしかしたら名称も「販売管理」より「業務管理」などの方が適切なのかもしれませんね。

下の図は業種ごとのよくある使用例を簡単にまとめたものになります。



最小限の機能だけ持たせておいて使い方で工夫される方もいれば、多額の資金を投入して「やりたい事をすべて叶えるスーパーソフト」にされる方もおられ、まさに様々です。会社の規模が大きければ必ず販売管理にかかる費用も大きくなるとも言いが切れないので、結局「指定伝票を発行しなければならない」など最低限必要な機能以外の「こういう資料は必要だ」「製造工程毎に出るロス把握が必要がある」「顧客層を絞ったDM発行をしたい」という前向きな販売管理の使い方をするかどうかは、「経営者の方の考え次第」という事のようにです。

豆知識：【Windowsキー+D】ですべて最小化にすることができます。クリックしたいアイコンが見えない時に利用すると便利です！また【Windowsキー+E】でマイコンピュータが開きます。

わかりやすい! 難しい用語を使わない! T講座 Vol.3 Blu-ray Discって何?すごいQ?

「矢沢気づきました・・・Blu-ray見るならテレビも良くないと～」なんてCMが流れ、NEWSでは「HD-DVD敗北!」と報道されています。オリンピックに向けて加熱するハイビジョンTVやデジタルハイビジョンレコーダー競争。6年間続いた【ブルーレイ VS HD-DVD】はブルーレイの勝利となりましたのでブルーレイディスクに話題を絞ってお話します。ちなみに詳細は割愛しますがブルーレイが勝利した要因は下の様な事が挙げられます。

- ・ブルーレイの方が大容量を保存する事ができる。
- ・ブルーレイの方がセキュリティが優れ、違法コピーなどを防ぎ易い。
- ・ブルーレイは高価だ!とされていたが大量生産により比較的安価になった。(それでも高価ですが)さて、ブルーレイって何?という話に戻りますが、おそらく皆さんが一番疑問に感じる部分「普通のDVDと何が違うの?」という点ですが、簡単に言ってしまうと容量が違います。下の表の様にブルーレイディスクは桁違いにたくさんの容量を持っていて、50GBというと市販されている音楽CD約75枚分にもなります。これだけの容量があるからハイビジョンテレビの画質をそのままコピーする事が出来る訳です。では厚さも大きさも同じなのにどうしてブルーレイだけこんなにたくさん入るのでしょうか?実はそこにブルーレイがブルーレイという名前である所以があります。

まず、大前提として大きさも薄さも同じ所にたくさん情報を入れようとする、「がんばって密度を高くして詰め込む」(ギューギュー詰めにする)以外に方法はありません。文字を書く時に、太いマジックで書くより、極細ボールペンを使って小さい字で書いた方がたくさん文字が書けるのと同じ考え方ですね。CDやDVDはレコード等とは違い針ではなく光で情報を読み取っているのですが、光の波長は赤い光の方が波長が広く、青紫の光になるほど光の波長が狭くなる性質があります。波長が短いほど少ない場所により多くの情報を詰め込む事が出来るので、その【青紫の光】で読み取るようにすればたくさん情報が入るじゃないか!というのがブルーレイな訳です。試作段階では8層式にする事によりBlu-rayディスク1枚に200GB(約CD285枚)まで容量を大きくする事を実現しています。理屈上では一番たくさん情報を入れる事の出来る青紫の光を使っている以上、これ以上容量を大きくするには従来とは全く異なる方式でないと難しいと言われているそうです。

ちなみに少し前まで現役で頑張っていたフロッピーディスク。あいつの容量は1枚1.4MB・・・ブルーレイが200GBとするなら約138,888枚分・・・技術の進歩にはただただ驚かされますね。10年後どうなってるかなんてもう想像すらつきません(笑)

※容量の計算は1G=1000MBで計算しています。



【発信元】シスポート株式会社

〒610-0361 京都府京田辺市河原平田23-16
 TEL (0774)-63-1131 FAX (0774)-63-1130
 e-mail info@sysport.co.jp
 HomePage http://www.sysport.co.jp